

2025 年 10 月 15 日

立命館大学大学院 経済学研究科

【お知らせ】経済学研究科 入学試験要項に関する訂正について

経済学研究科 入学試験要項（2026 年 4 月入学）におきまして、記載内容の一部に誤りがありました。以下の内容にて、修正内容をご確認ください。

受験生の皆さまならびに関係者の皆さまには、ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

1. 大学院入試情報サイト掲載分について

2025 年 10 月 15 日に、修正版を掲載しております。

2. 冊子（印刷物）について

次ページ以降の訂正文書をご確認ください。

以上

2026 年 4 月入学 経済学研究科入学試験要項の記載内容に関するお知らせ（訂正）

このたび、皆さまにお配りした「2026 年 4 月入学経済学研究科入学試験要項」の記載内容の一部に 誤りがございました。受験生の皆さまならびに関係者の皆さまには、ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

つきましては、修正箇所の新旧対照表を、以下のとおり案内いたします。ご確認のうえ、お間違いのないようご注意ください。

修正箇所の新旧対照表

1. 経済学研究科の人材育成目的の修正

博士課程前期課程(2026 年 4 月入学 入学試験要項 P.1「人材育成目的」)

旧	新
④Master' s Program in Economic Development (MPED) すべて英語による国際標準の経済学の教育を行い、世界を舞台に活躍する国際的 高度専門職業人を養成します。留学生教育に加え、国際性に富んだ日本人エコノミストの養成も行います。	④Master' s Program in Economic Development (MPED) すべて英語による国際標準の経済学の教育を行い、世界を舞台に幅広く諸 <u>外国と協働し</u> 活躍する国際的 高度専門職業人を養成します。留学生教育に加え、国際性に富んだ日本人エコノミストの養成も行います。

2. 経済学研究科のカリキュラム・ポリシーの修正

博士課程後期課程(2026 年 4 月入学 入学試験要項 P.15「教育課程編成・実施方針
(カリキュラム・ポリシー)」)

旧	新
後期課程では、 <u>教育目標</u> を達成するために、院生の研究分野に応じた研究指導体制を編成しています。	後期課程では、 <u>人材育成の目的</u> を達成するために、院生の研究分野に応じた研究指導体制を編成しています。

3. 経済学研究科のアドミッション・ポリシーの修正

博士課程前期課程(2026年4月入学 入学試験要項 P.2「入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)」)

旧	新
経済学研究科は、経済学とその応用分野について深い専門知識および高い国際コミュニケーション能力を備えた、研究者や高度専門職業人を養成することを目的としています。前期課程では院生の希望する研究分野、志望する専門職領域についての多様なニーズにこたえるために、日本語による(1)経済理論・政策コースと(2)地域経済・地域マネジメントコース、(3)税理・財務コース、英語による(4)Master's Program in Economic Development (MPED) の4つのコースを設けています。各コースでの <u>人材育成</u> の目的を達成するため、入学時点において経済学およびその応用あるいは周辺領域について、学士課程水準以上の専門知識とそれぞれの研究遂行のために必要な英語によるコミュニケーション能力を有し、独創的な視点から研究を進める研究者、高度専門職を目指す院生、本研究科での学習・研究の成果を自らの仕事の中で応用する意欲を持った方を求めています。	経済学研究科は、経済学とその応用分野について深い専門知識および高い国際コミュニケーション能力を備えた、研究者や高度専門職業人を養成することを目的としています。前期課程では院生の希望する研究分野、志望する専門職領域についての多様なニーズにこたえるために、日本語による(1)経済理論・政策コースと(2)地域経済・地域マネジメントコース、(3)税理・財務コース、英語による(4)Master's Program in Economic Development (MPED) の4つのコースを設けています。各コースでの <u>教育目標</u> の目的を達成するため、入学時点において経済学およびその応用あるいは周辺領域について、学士課程水準以上の専門知識とそれぞれの研究遂行のために必要な英語によるコミュニケーション能力を有し、独創的な視点から研究を進める研究者、高度専門職を目指す院生、本研究科での学習・研究の成果を自らの仕事の中で応用する意欲を持った方を求めています。

以上